

8月号  
2025年

新栄校区社会福祉協議会  
佐賀市鍋島八戸1285-3  
新栄公民館内

## みんなのカフェ開催!

6月7日(土)、まちづくり協議会主催による「みんなのカフェ」が開催されました。ここでは、新栄ボランティアや食生活改善推進協議会の方々が作られたカレーライスが振舞われ、150人を超える参加者がありました。屋外ではスポーツ協会による「モルック」の体験会があり、多くの親子連れが楽しんでおられました。今年度3回ほど開催される予定ですが、試行錯誤しながら校区の皆さんのが楽しんでいけるイベントになるとよいですね!



## 60歳以上のスポーツ大会!

60歳以上が対象の「ねんりんピック」が、6月22日(日)に新栄小学校体育館で開催されました。各町区から約130名の方が参加され、4種目のニュー・スポーツに挑戦しました。蒸し暑い日となりましたが、熱中症に注意しながら和気あいあいと楽しい時間を過ごすことができました。来年もまた元気に集い合えると良いですね!



## 校区民ラジオ体操

夏休み初頭となる7月21日、新栄小学校グラウンドで校区民ラジオ体操が行われました。この日は朝から強い日差しが照り付けましたが、多くの子どもたちも含め、約280名の校区民が参加し気持ちの良い汗を流しました。猛暑が続く中ではありますが、健康に注意して夏を乗り切っていきましょう!



新栄校区

# 社協だより

「助け合い・声かけ合い・支え合い」の地域づくり

## 誰も孤立させないまち・新栄

### 【できる人が、できる時に、できる事を】

#### 令和7年度校区社協総会を開催!

令和7年度新栄校区社会福祉協議会総会が5月10日、新栄公民館において開催されました。

総会では、事業計画や収支予算など5議案が可決・承認され、今年度の活動が開始されました。重点目標では「福祉協力員会議の充実」が掲げられ、町区ごとの連絡会議を基本に協力体制を強化していくこととなりました。



少子高齢化に伴い地域の希薄化が叫ばれる中、孤立や生活力、健康面などの不安を抱える方もおられ、そういう声に敏感に反応する力が大切になります。新栄校区で取り組んでいる見守り活動が、その不安を取り除けるよう「できる人が、できる時に、できることを」の実践をお一層進めていくことを確認する総会となりました。

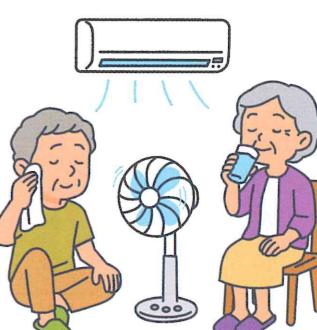
## ごあいさつ

新栄校区社会福祉協議会 会長 池田正弘

5月の総会におきまして、引き続き2期目の会長にご承認いただきました池田正弘です。新栄校区の皆様には、日頃より校区社協の活動にご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。

さて、新栄校区で取り組んでいます見守り活動も今年度で10年を迎えます。福祉協力員を経験される方も2回目となる方もおられると思います。少しづつではありますが、活動も定着し地域の皆さまの意識も高まってきているのではないかでしょうか。これから更に少子高齢化が進んで行く中、地域課題の多様化が懸念されます。見守り活動を通して「助け合い・声かけ合い・支え合い」の地域づくりを目指して、地域住民が協力し合い、安全で安心して暮らせるまちにして参りましょう!

今年は梅雨明けも驚くほど早く、6月下旬から猛暑が続く異常な気候となっています。冷房器具もものはや生命維持装置と言われるほどに熱帯化しています。こまめに水分補給を行うなど熱中症対策に心がけて乗り切っていきたいと思います。更なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



# 令和7年度 校区社協重点事業

## ①福祉協力員活動の推進

- ・町区で班長または班代表者を福祉協力員として選任し、遠見での見守り活動を開催する。
- ・自治会長、民生委員、福祉推進委員、福祉協力員による福祉協力員会議を開催し、見守り活動の情報共有を行う。

## ②見守り・支え合い月間(5月、10月)の推進

- ・見守り旗の掲揚並びに見守りチラシを全戸に配布し、意識向上を図る。
- ・チラシ「いざという時のために」の記入及び掲示運動を推進する。

## ③福祉推進委員会議の充実

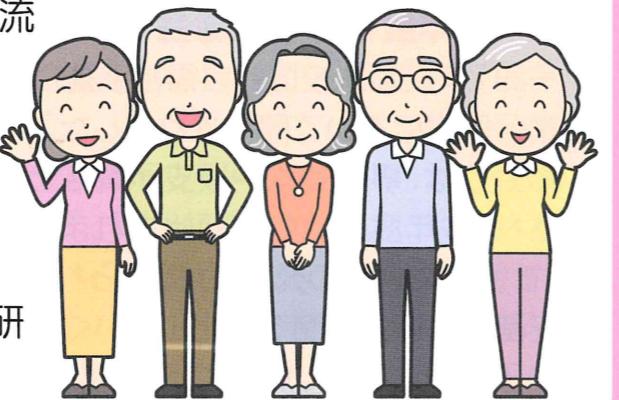
- ・年4回、福祉推進委員会議を開催し、研修・交流を行う。

## ④新規見守りネットワークの推進

- ・町区における個別見守り体制づくり及び福祉名簿の作成を推進する。

## ⑤校区内各種団体との連携強化

- ・自治会、民生委員、校区社協役員による合同研修会を開催し、情報の共有・連携を図る。



## 社協活動へのご協力、よろしくお願いします

### 2025年度 福祉推進委員

緑小路	鶴田美知子	会長	池田正弘
天祐1丁目	香月聰美	副会長	伊東照俊
天祐団地	柴田直江	副会長	陣内修
天祐2丁目東	百崎芳弘	副会長	光岡悦子
天祐2丁目	秋山芳美	副会長	宮原和子
天祐北	斧本清美	副会長	小柳一浩
新生町	中尾良二	副会長	江口利朗
八戸東	小田綾子	副会長	市丸眞子
八戸上	本山栄造	庶務・会計	鶴典之
新栄北	渡辺勝	監事	立川弘子
新栄団地	檜崎英樹	監事	本山栄造
八戸西	江口美穂子	顧問	田中喜久子
八戸北	桑原紀子	相談役	杠輝夫
坂井	川内丸邦子		
坂井	増岡恵子		
深町	大坪トシ子		

出来る人が  
出来る時に  
出来ることを

## 校区社協研修会開催!

### テーマ【みんなで安心安全な地域に!】

5月10日、校区社協総会に先立ち福祉推進委員研修会を開催しました。これには自治会長、民生委員の皆様にもご参加いただき、講師には、嘉瀬校区社会福祉協議会の時尾久美子氏をお招きし、「みんなで安心安全な地域に」をテーマに講演をして頂きました。

はじめに福祉協力員の活動について、見守りの対象は一人暮らしの高齢者や高齢者世帯の方、災害時の要支援者、少し気になる子供等、遠目の見守りを中心に行い、異変に気付いたときは自治会長や民生委員等に連絡すること。毎年見守り活動を続けていく中で、地域に福祉の眼が増えていることを実感しているとの話がありました。

また、講師が防災士の資格をお持ちであることから防災についての講演があり、その中で個別避難計画の重要性についてお話をありました。先ず、市が発令する避難情報に注意をはらい、事前に「いつ、どこへ、誰と、どうやって避難する」かを家族で決めておくことが重要であるとともに、一人暮らし等の支援が必要な方の避難計画を事前に作成することも必要とのことでした。

さらに、「高齢者等避難」(レベル3)でスムーズに避難行動ができる自宅避難についても、備蓄品等を備えておくこと。レベル3では避難所で避難物資の提供はないので、水や食料を準備をしなければならない。

災害が発生すると住民の安否確認が必要になり、自治会長や民生委員だけでは全員の確認は不可能で、そこに福祉協力員等で安否確認ができる組織にしていくことが望ましいとのことでした。

近年、全国でグリラ豪雨が発生し多くの被害が出ており、自分の身は自分で守ることを原則にしながらも、地域においては日頃からの見守り活動を通し、声を掛け合う隣近所の関係づくりを作っていくことが重要だと感じました。

